

# 国内最大級のクレーンが 物流の動脈を繋ぐ!

～函館港幹線臨港道路工事現場を記者と高専生が見学～

函館開発建設部では、港湾関連交通の効率化を図る函館港本港地区幹線臨港道路(Ⅱ期工区)整備事業を進めているところです。今般、橋梁架設工事現場において、報道機関の方々へ事業の概要・進捗状況などを説明する「**現地記者説明会**」、および函館工業高等専門学校との4・5年生を対象とした「**工事現場見学会**」を以下のとおり開催しました。

(開催場所…函館市港町1丁目地先  
函館港本港地区有川部臨港道路工事現場)



記者説明会の様子

## <現地記者説明会>

<日時>

平成27年6月12日(金) 15:30～16:30

<説明内容>

函館港本港地区幹線臨港道路(Ⅱ期工区)整備事業の概要及び現在の施工状況について

## <工事現場見学会>

<日時>

平成27年6月25日(木) 14:30～15:30

<対象者>

函館工業高等専門学校社会基盤工学科  
4年生 37名  
5年生 6名

<実施内容>

当該工事の橋梁架設現場における作業及び大型クレーン内部の見学、橋桁締付用ボルト(高力ボルト)の締付体験



工事現場見学会の様子

## 函建の活動紹介

**幹線臨港道路(Ⅱ期工区)整備事業**は、港湾関連交通と一般交通の混在を緩和し、輸送効率の向上や交通安全の確保を図ることを目的に平成9年度に現地着工、平成20年代後半の完了へ向け鋭意整備を進めています。本年も7月に入り工事最盛期を迎えており、JR貨物の有川引込線(港町)を跨ぐ橋梁部(鋼橋)の桁架設が行われています。

本橋梁は主桁に使用する鋼材重量の低減など、経済性に優れた「**開断面箱桁橋**」という全道で7例目となる新しい型式を採用しています。橋桁の架設は**国内最大級**である**550トン吊**の大型トラッククレーンにより施工されており、大変迫力があります。



クレーンによる橋桁の吊り上げの様子

橋桁架設作業の様子

